

救急医学〈F2〉

オーガナイザー

救急・集中治療部 加藤 正哉

I 一般学習目標

医療全体の中での救急医学の役割を認識し、生命危機に値する生体侵襲と病態生理を理解する。

II 個別学習目標

(1) 救急医学総論

1. 救急医療システムが理解できる。
2. 救急医療の歴史を理解し地域における救急医療の問題点を把握する。
3. 救急診断の特殊性を理解し一般診療との違いを述べることができる。

(2) 心肺蘇生

1. BLS が実施できる。
2. ACLS が理解できる。

(3) 外傷

1. 外傷診療の仕組みとその手順が理解できる。
2. 病院前、病院内での診療ガイドラインが理解できる。
3. 頭部・胸部・腹部・四肢外傷に対する緊急対応が理解できる。

(4) 病院前救急医療

1. メディカルコントロールについて理解する。
2. 救急救命士の役割が理解できる。
3. ドクターヘリ、ドクターカーの役割が理解できる。

(5) Acute care surgery

1. 急性腹症の鑑別と病態が理解できる。
2. 緊急手術、緊急内視鏡の適応と処置が理解できる。
3. ダメージコントロールサージェリーの概念が理解できる。

(6) 生体侵襲と重症病態

1. ショックの病態と分類が理解できる。
2. 重症呼吸不全の病態と分類が理解できる。
3. 急性腎不全の病態が理解できる。
4. 多臓器不全の病態が理解できる。

(7) 重症患者の管理と集中治療

1. 人工呼吸器の適応と設定が理解できる。
2. 血液浄化法の分類と適応が理解できる。
3. 補助循環の適応が理解できる。

(8) 救急特殊疾患

1. 急性中毒のスクリーニングと初期治療が理解できる。
2. 熱傷の病態と全身管理が理解できる。
3. 熱中症、偶発性低体温の病態と治療が理解できる。

(9) 災害医療

1. 集団災害の定義と概念が理解できる。
2. 我が国の災害医療対応システムが理解できる。
3. トリアージが理解できる。

Ⅲ 講義項目と担当者

1. 救急医学総論	救急・集中治療部	加藤 正哉
2. 心肺蘇生	救急・集中治療部	川嶋 秀治
3. 外傷	救急・集中治療部	上田 健太郎
4. 病院前救急医療	救急・集中治療部	中村 俊介
5. Acute care surgery	救急・集中治療部	山添 真志
6. 生体侵襲と重症病態	救急・集中治療部	宮本 恭兵
7. 重症患者の管理と集中治療	救急・集中治療部	辻本 登志英
8. 救急特殊疾患	救急・集中治療部	中島 強
9. 災害医療	救急・集中治療部	那須 亨

Ⅳ 推薦テキスト及び参考書(◎テキスト)

標準救急医学第5版 ◎	医学書院	本体	7,500 円
今日の救急治療指針第2版	医学書院	本体	13,000 円
新プレホスピタル外傷学	永井書店	本体	6,000 円
外傷初期診療ガイドライン (第5版)	へるす出版	本体	15,000 円
改訂第2版 DMAT 標準テキスト	へるす出版	本体	5,200 円
JRC 蘇生ガイドライン2015	へるす出版	本体	3,700 円

Ⅴ 評価方法

授業の60%以上の出席をもって定期試験の受験資格とする。

定期試験で60%以上の得点をもって合格とする。

講 義 日 程 表

救急医学

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	H30.4.6	(金)	5	救急医学総論	救急集中治療部	加藤
2	H30.4.17	(火)	1	心肺蘇生	救急集中治療部	川嶋
3	H30.4.20	(金)	2	外傷	救急集中治療部	上田
4	H30.5.14	(月)	5	生体侵襲と重症病態	救急集中治療部	宮本
5	H30.5.17	(木)	1	重症病態に対する集中治療	救急集中治療部	辻本
6	H30.5.22	(火)	1	病院前救急医療	救急集中治療部	中村
7	H30.5.28	(月)	5	救急特殊疾患	救急集中治療部	宮本
8	H30.6.12	(火)	5	Acute care surgery	救急集中治療部	山添
9	H30.6.27	(水)	3	災害医療	救急集中治療部	那須